

❖アルツハイマー病の予防❖

2015年1月、厚生労働省は日本の認知症患者数は2025年には700万人を超える、65歳以上の約5人に1人が認知症またはその予備軍になると推計を発表しました。さらに、2040年には1000万人を突破するとみられています。

厚生労働省の発表は九州大学が行っている久山町という町民全体を対象とした研究結果が元になっています。認知症の種類の中でも約6割を占めるアルツハイマー病は、年々増加しています。久山町の研究結果では、その要因の一つが同じく増加傾向にある「糖尿病」であることがわかりました。また、喫煙も危険因子の一つであり、禁煙によりそのリスクが下がる可能性があると報告されています。

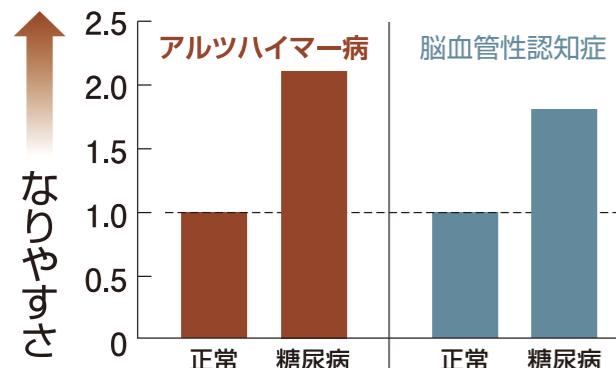
当クリニックでは、今後、最新の認知症診断を取り入れて、みなさまの健康寿命を延ばすことに貢献できるよう努力していきます。

※久山町研究

久山町は、人口構成比率、産業構造など様々な点が日本の平均値に近い町と言われています。九州大学では50年前から久山町民(約8,400人)に対し地元と協力して健康診断を行ない、病気の人を追跡調査するなどしてデータを蓄積し研究を続けています。

糖尿病は認知症の発症リスク

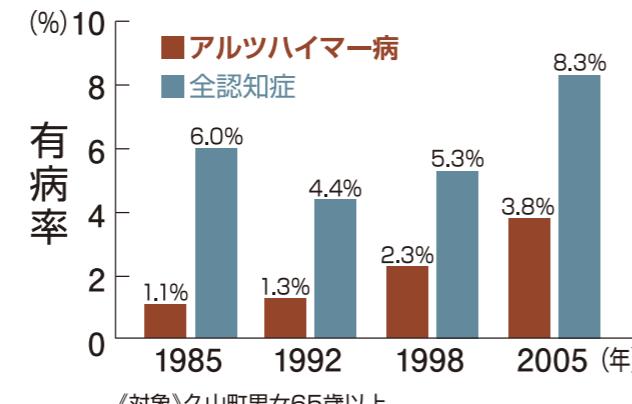
糖尿病は、脳血管性認知症よりも主にアルツハイマー病の危険因子であり、その増加の要因である。



《対象》久山町男女1,017名、60歳以上、1988-2003年九州大学「久山町研究」より

アルツハイマー病有病率の時代的变化

認知症、特にアルツハイマー病の有病率は人口の高齢化を越えて増加している。



厚生仙台クリニックは、「健康友の会」会員様の健康維持、健康管理のサポートをし、また、ご家族様にも健康意識を高めていただくための健康管理の情報を提供することで、皆様の健康寿命(寝たきりや認知症にならず元気で活動的に生活できる期間)に貢献することを目的としています。

《会員の特典》

- ① 定期的な検診のご案内
- ② 検診料金の割引 会員価格にてご受診いただけます。
(他の割引と併用できない場合があります。)
- ③ 健康に関する有用な情報の提供 健康管理に役立つ会報誌「こうせいだより」を適宜提供致します。

《入会方法》

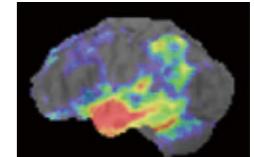
- 当クリニックでPETがん検診をご受診された方は自動的にご入会となります。
- 一度でもご受診された方は会員となります。
 - 会員様よりご紹介された方も会員価格でご受診いただけます。

❖脳の検査のご案内❖

当クリニックでは、がんの検査だけではなく、脳卒中や脳腫瘍、認知症などを発見するための脳の検査も充実しております。当クリニックでお受けいただける脳の検査をご紹介いたします。

脳PET検査でわかることは?

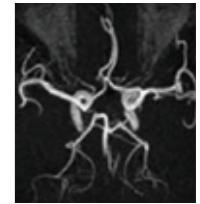
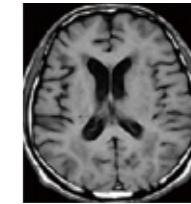
PETとMRI(頭部統計解析)を使用し、脳の糖代謝の低下や萎縮の程度を調べることで、アルツハイマー病や症状のない早期の認知症の発見を目的としています。



脳PET※赤色が異常所見

頭部MRI・MRA検査でわかることは?

頭部MRI検査(頭部断層撮影)は、脳の断面の画像から、脳腫瘍および脳出血、症状のない脳梗塞や脳出血を発見いたします。



頭部MRI

頭部MRA

当クリニックで脳の検査を受けるには?

※全て税抜価格

コース	脳PET検査	頭部MRI・MRA検査
プレミアムコース	200,000円	OP 30,000円
スタンダード+脳コース	180,000円	コースに含む
レディースコース	160,000円	OP 50,000円*

*レディースコースの脳PET検査オプション(OP)には、頭部MRI・MRA検査も含まれます。

～日本脳ドック学会～

オプションの脳PET検査を追加しますと、日本脳ドック学会が定める「脳ドックのガイドライン」の検査項目を含む検診をお受けいただけます。日本脳ドック学会は、脳卒中や認知症など脳疾患の予防や早期発見に脳ドックが役立つこと、また、その質の向上を目的に活動している機関です。

ちょっとひと休み

頭の体操にチャレンジしてみましょう

12個の道具の名前が書かれています。それぞれの共通点を考えながら、12個の道具名を4つのグループに分類してみましょう。

ホウチョウ カンナ スコップ ウエキバサミ ジョウロ カナヅチ
ノコギリ ノミ コンパス フライパン ジョウギ ナベ

答えは7ページをご覧ください。